

佳作

みんなでつかんだ勝利

茨城県 結城市立結城中学校二年 永島 三由

皆さんは、心の底から感動した事がありますか。今からお話しする事は私の実際に体験した事です。

私はソフトテニス部に入っています。私は中学校が強制で部活に入らなければいけない事を正直面倒くさいと思っていました。でも、テニス部に入って私の気持ちは変わったのです。

その理由は二つあります。

一つは、何も知らなかった私にたくさんの事を教えてくれた先生です。先生にはテニスだけでなく、常識や礼儀、そしてチームワークと助け合いという事を教わりました。試合で負けてしまった時、私はひどく落ち込んでいました。そんな時、先生は

「ペアを信じて試合をしたか。」

と私に聞きました。私はよく考えてみて、そして気づいたのです。私は心の中ではペアを信じていると思っていたけれど、試合中も試合前もミスをしたらどうしようかと不安ばかりで自分の事しか考えていなくて、ペアの気持ちも考えていなかったのです。そんな自分が嫌になった私は、自分にけじめをつけるためにペアの気持ちを聞いて積極的に練習や試合をしてもっと信頼を深めようという目標を立てました。そして、目標に向かって練習をした後の試合で私は勝つ事ができたのです。私はもし先生に

「ペアを信じたのか。」

と聞かれなければ、この一言がなかったら、ペアを信じる事も試合に勝つ事もできなかったと思います。

二つ目は、部活のみんなの気持ちです。

先生に教わった事の一つなのですが、とても大切だという事がテニスをやっていて分かりました。

テニスでは、個人戦と団体戦があります。個人戦はそれぞれのペアがバラバラに戦って、団体戦は三つのペアがそれぞれに試合して勝った回数で勝敗が決まります。私は団体戦で最初から勝てるわけがないと思いつながら友達のペアの試合を見ていました。友達は試合に負けてしまつて、次が私の試合の番なのでコートに向かおうとした時、友達が私を呼び止めて

「負けちゃってごめんね。頑張つて。」

と悲しそうな声で言いました。私はそんな友達を見て、先生に教わった事を思い出しました。そして私は、ミスしてもお互い声をかけ合い真剣に試合をしました。私は、後ろから聞こえるみんなの声援とみんなの先生の思いの下、初の団体戦に勝つ事ができたのです。

私は、ペアやテニス部のみんな、そして先生に感謝して、この勝利の感動を忘れないうでこれからも部活に励んでいきたいと思いました。